令和元年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	22	事業No.	149		
事務事業名	省エネルギー推進事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	環境モデル都市推進課	開始	H27	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる
			12	リニア時代を支える都市基盤を整備する
	分野別計画		飯田市環境基本計画（21’いいだ環境プラン）	
			第２次飯田市環境モデル都市行動計画	
	法令・例規等		都市の低炭素化の促進に関する法律（エコまち法）	
			長野県地球温暖化防止条例	
			飯田市環境基本条例	

事業目的		
	対象	市民、事業者
	意図	地域の産業界を中心に、地域の気候風土を活かした省エネルギー住宅の飯田独自仕様の構築と流通を含めた仕組みづくりを行う。また、省エネルギー住宅改修への支援制度の構築を目指す。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	
	ＺＥＨ(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)は、国のエネルギー基本計画において「2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までには新築住宅の平均でZEHを実現することを目指す」 とされています。しかし、ＺＥＨに対する認知度不足やコストが割高になるなどの課題もあり、今後の普及が不透明なことに併せ、リニア時代に向け、外部資本との競合に備え、地場産業の育成が早期に求められています。そのため、当地域にふさわしい省エネルギー住宅仕様の構築と流通の仕組みづくりの整備を行い、市内に省エネルギー住宅を普及する取組みが求められています。

1年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	市内建築物の省エネルギー性能を向上させる飯田市独自のガイドラインについて産官学で検討し、地域の気候風土にあった飯田版ＺＥＨ仕様に基づく省エネ建築物を普及させる体制づくりと省エネ住宅改修への支援制度の研究を進めます。 市内企業への省エネルギーの取組に繋がる意識啓発に取り組みます。 温暖化防止や地域経済の活性化のため、市内の化石エネルギー依存から再生可能エネルギーの活用へ転換するため、エネルギー活用方針の策定を見据え、市内エネルギー消費実態の把握に努めます。	省エネ建築補助制度の研究	324
		企業省エネの啓発	204
		エネルギー消費実態調査	3,464
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 実績	平成30年度 計画	令和元年度 計画	令和2年度
	ZEB/ZEH研究会・普及活動の実施回数	回	12	6	6	
	企業省エネの意識啓発セミナー	回			1	
	市内エネルギー消費実態調査	回			1	

1年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	3,992	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	3,992	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	7	3,992 / 0	省エネルギー推進事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								